

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870300906
法人名	有限会社 エンジェルハウス
事業所名	グループホーム紙ふうせん
所在地	愛媛県宇和島市三間町成家845番地
自己評価作成日	平成22年11月1日～平成22年11月25日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年12月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりが安心して暮らせるように、サービスの見直しや計画も、スタッフ、家族と情報提供を行い、要望、希望など聞き、ミーティングやスタッフ会などで話し合いながら支援を行い、又、研修や勉強会などにも取り組み、事故防止や質の向上を目指し、よりよいサービスが出来るよう日々努力している。介護の重度化の見られる方も増加しており、みどりの受け入れにも取り組んでいきたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

地元職員の知り合い等から地域との交流の輪を拡げておられ、事業所の夏祭り際には、婦人会が盆踊りや食べ物作り等のお手伝いをしてくださった。又、近くの保育園との交流をすすめておられ、園児が七夕等に来てくれて一緒にそうめん流しを楽しまれたり、園長が運営推進会議に出席して下さっている。又、保育園の夕涼み会には、職員もかき氷作り等の手伝いをされた。小学生の福祉体験学習で子ども達が来てくれ、玄関前の駐車場で「ミニ運動会」を行った際には、小学校に鉢巻きや道具をお借りして、風船割りや玉入れ等を利用者と一緒に楽しみながら交流された。又、中学生の職場体験等も受け入れておられ、交流した小・中学生からは後日、お礼の手紙をもらい、廊下に掲示されていた。
 「利用者の状態についての申し送り内容が、職員によって情報量が異なる」という、職員からの意見もあったようで、利用者個々について「必要な情報」をピックアップして、それに基づき重点的な情報が必ず申し送れるよう仕組みを作っておられる。又、日々の介護記録も、職員は、その情報に焦点を当てて記録するようになったようである。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム紙ふうせん

(ユニット名) Bユニット

記入者(管理者)

氏名 松岡 敬子

評価完了日 平成22年 11月 26日

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 会議などに理念の再確認など行い、事業所の理念を理解し、実践出来るよう、それぞれが気にとめながら取り組んでいる。 (外部評価) 玄関や職員が休憩するスタッフルームに「ま～るい えがお・おもしろい・やすらぎ」と事業所の理念を掲げて、職員会議時等に日々の支援を振り返ったり、又、運営推進会議時にもホームの名前の由来等も伝えて、地域の方達にも知ってもらえるよう努めておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 納涼祭や、学校、保育園との交流を年に3～4回位行ったり、運営委員会などにも参加してもらいながら交流している。 (外部評価) 地元職員の知り合い等から地域との交流の輪を拡げておられ、事業所の夏祭りの際には、婦人会が盆踊りや食べ物作り等のお手伝いをしてくださった。又、近くの保育園との交流をすすめておられ、園児が七夕等に来てくれて一緒にそうめん流しを楽しまれたり、園長が運営推進会議に出席して下さっている。又、保育園の夕涼み会には、職員もかき氷作り等のお手伝いをされた。小学生の福祉体験学習で子ども達が来てくれ、玄関前の駐車場で「ミニ運動会」を行った際には、小学校に鉢巻きや道具をお借りして、風船割りや玉入れ等を利用者と一緒に楽しみながら交流された。又、中学生の職場体験等も受け入れておられ、交流した小・中学生からは後日、お礼の手紙をもらい、廊下に掲示されていた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域の方々や施設見学者の方達の相談や、質問には、いつでも受け入れや、返答が出来るようスタッフへの勉強会も行いながら努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 2ヶ月に1回は実施している。地域や家族代表の参加も あり、顔なじみにもなれてきているので、もう少しス タッフも参加出来るような環境を作って、サービスの 向上に活かしたいと努めている。参加者を広げていき たい。</p> <p>(外部評価) 「地域とのつながり」を深めていけるような会議に努 めておられ、自治会長や地域をよく知るご近所の方等 にも会議に出席していただいている。会議時には、参 加者の希望を聞いて午後からの開催とされており、行 事等、事業所の活動状況報告をして、家族会等の事業 所の今後取り組んでいきたいこと等も発表して、ご意 見や要望を聞くようにされている。</p>	<p>さらに事業所では、民生委員や老人クラブの方等、会 議への出席者を増やしたり、会議時に消防訓練等、実 際に会議出席者も事業所の取り組みに参加していただ くことを考えておられた。又、事業所では会議時に認 知症サポーター講座を行いたいと考えておられ、市の 方とも協力しながらすすめていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 管理者が主に連絡を取っているため、事務所やスタッ フは上司に確認してから対応し、ひとつひとつの電話 を大切に対応し協力関係がうまくいくよう取り組んで いる。</p> <p>(外部評価) 地域包括支援センターがすすめる徘徊模擬訓練時に、 事業所の職員が認知症の人役になって協力をされた。 地域の方々と協力し合って、認知症の人の理解への取 組みをすすめておられる。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 身体拘束は現状では行っていない。必要な時は、家 族、管理者の同意のもとだけ出来るだけしないよう、 見守りなど強化しながら取り組んでいる。研修会や、 勉強会などでも自主防止を指導している。</p> <p>(外部評価) 足元が不安定な方もあり、職員からの提案でベッドに 鈴を付けて利用者がベッドから足を下ろすと鳴るよう にされていたり、布団の端に鈴を付けている方も見ら れた。「外に出たい」という利用者には、職員が付き 添って散歩されたり畑に出て過ごすようにされてい る。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>「言葉の虐待」に特に注意し、月に1~2回の勉強会などで話し合ったり、苦情委員会や苦情箱なども活用しながら、その時々話し合いや相談の場を持つようにし、防止に努めている。判断の選択が難しい。</p>	
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>研修を受けた者も数名いるが、理解が難しいので理解しながら支援していこうと思う。</p>	
9		<p>契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所時に説明し契約の締結は出来ているが、転倒の危険性や、急な状態変化、団体行動の必要性など細かく個人的に説明はしており理解、納得はしてもらっているが、記録に残しておくことが必要ではとの考えに基づき、現在改善中である。</p>	
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者、家族の意見や要望は、面会時や意見箱、日常の会話などの中から受け止め、スタッフ会議やミーティングなどで話し合い、改善や運営に反映させている。スタッフの写真をフロアに掲示している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関を入ったところのスペースにテーブルといすを配しておられ、事業所の行事時の写真等がきれいに整理して置いてあり、ご家族ら来られた時には利用者と一緒に見ながら、お話しも弾むようである。毎月ご家族に送付する請求書には、事業所から衣替え等「持って来てほしいもの」等のお願いを書くようにされており、ご家族は必ず読んで電話をくださったり、来てくださるようである。事業所では「ご家族とのコミュニケーションがあって、利用者ご本人とのかかわりが成り立つ」と考えて、ご家族を大切に思い、ご家族の立場に立って考えていけるように取り組みをすすめておられる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 朝の申し送りや、ミーティング、スタッフ会議などには出席し、意見を聞きながら、受け入れや改善に反映させている。スタッフからの発見も多い。 (外部評価) 「利用者の状態についての申し送り内容が、職員によって情報量が異なる」という、職員からの意見もあったようで、利用者個々について「必要な情報」をピックアップして、それに基づき重点的な情報が必ず申し送れるよう仕組みを作っておられる。又、日々の介護記録も、職員は、その情報に焦点を当てて記録するようになったようである。利用者が使いやすいような食器を職員がお店で探して来られたり、近々行うクリスマス会では、職員で余興をされるよう準備をされていた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 休憩時間は、休憩室を利用して、くつろいでもらったり、個々に努力している事を認め合い、助け合いながらみんなで協力し合ったり、意見など聞ける機会や場を設けるように努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 実践リーダー研修などに参加し、業務改善や、人材育成など進めているが、個々の意欲がいまひとつなので、勉強会や資料の配布などをしたりして、ホームの向上に努め、研修参加の機会も認め、自主学習に努め日常業務に活かせるよう進めている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 交流は少ないが、宇和島市が立ち上げているグループホーム連絡会や、同業者の会合に出席させ意見交換や情報交換、研修会参加などサービス向上に取り組んでいる。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) それぞれが気を配り、話や意見を聞いたりしながら体験入所や、家族の施設見学の受け入れなども行い、安心して利用してもらえるよう信頼関係の維持に努めている。利用者の紹介なども行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族の要望などある場合は、体験入所と言う形で一時2~3日預かったり、家族の要望、希望などは受け入れ時や見学時に必ず聞いてあげ、安心して入所決定につなげるよう努めている。	
17		初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 利用者の情報収集をする際、プライバシーを考慮しながら聞き取りを行い、サービスを開始する段階での計画作成に取り入れていけるよう努力している。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 一つの家族のように、お互いの存在を感じながらアットホーム的な時間を過ごしてもらえよう、お互いの思いやりを大切にしながら関係を築いている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族が相談しやすいような環境作りに努め、相談や希望、要望に耳をかたむけながら本人との関係が途切れないような関係を築いている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) それぞれの状況によっては、親戚や知人の来訪は少なくなりがちなので、出来るだけ関係が途切れないよう、面会時間の制限、外出、外泊の自由性や自室で落ち着いて話せるよう心遣いに努めている。 (外部評価) ご家族が電話をくださり、ご本人とお話したり、又、ご本人の希望で、職員は、ご家族に電話をかける手伝いをされている。今後、年賀状を出すこと等、ご本人の状態に合わせてかわり、ご家族や知人とのかわりをつないでいく支援も工夫していくことを検討されていた。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 同年齢の同士が助け合ったり、食事の席などにも配慮し、孤立しないよう職員が取り持ったり気を付けるように努めているが、なかなか難しいのが現状です。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所された方の家族からの相談などにも対応したり、再利用される方などもあり、関係を大切にしよう努めている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 毎月1回ユニットのリーダー、管理者との会議を開き、問題点や関わり方など話し合ったり、本人からの希望なども聞き、本人主体に問題点や関わり方など話し合ったりしている。 (外部評価) 職員は、ご本人の気持ちや希望等を知り得た時には介護記録にとどめるようにされている。	長く勤務されている職員も多く、職員は、利用者個々のことをよく知っておられるが、さらに、得た情報をまとめて分析するような様式等を工夫して、さらに、ご本人の思いや意向を探っていかれてほしい。さらなる利用者主体の介護計画作成につなげて、ご本人の思いや意向に沿った個別の細やかな支援に努めていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人の馴染みの品の持ち込みや、今までの生活環境、生活歴など関係機関との連絡を大切にしながら、支援するよう努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) ちょっとした変化にも気を付けるようスタッフ同士の意見交換や、現状把握が出来るよう記録に目を通したり、一人ひとりの過ごし方など日々の生活に気をつけるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) スタッフ同士話をしたり、意見やアイデアなど出し合ったり、面会時に家族に意見、本人の希望など話し合いながらカンファレンスや、モニタリング評価など行い介護計画作成に努めている。</p> <p>(外部評価) 介護計画は「ご本人の気持ちとご家族の要望」を反映できるように努めておられる。計画内容をご本人に説明してサインをもらっている方もある。支援内容について、支援出来たか出来なかったか、毎日 ×でチェックされている。計画は、3カ月ごとに見直しをしておられ、行く行くは利用者個々の担当職員が介護計画を立てられるようにしたいと考えておられた。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 業務改善などにより、記録を重視した意見交換、改善方法など検討しながら、記録の必要性を確認したうえで実践し、計画の見直し等に活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) プラン以外のサービスについては、記録に残したり、スタッフ同士で情報交換を行い、柔軟なサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 地域の行事や催し物など、出来るだけ参加したり、又、参加してもらったり、暮らし慣れた人々、環境を把握して係わりが持てるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 本人のかかりつけ医はそのまま持続してもらったり、協力医に関しては、いつも快く受け入れてもらっているので、気軽に何でも相談でき、家族や本人も安心していられるよう支援している。</p> <p>(外部評価) 協力医は、利用者のことをよく知ってくださっており、受診時には「どのような状態で、どうしたいの」と聞いてくださり、事業所からの報告や希望・意見を聞いてくださっている。又、利用者の状態については、電話等でもよく相談をされており、利用者の状態等も見ながら以前から飲んでる薬を調整して、ケアでカバーして、状態が良くなったような方もある。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 看護師の設置義務はないが、有資格者がおり、看護知識の共有をさせてもらっており、体調の変化など助言を受け、その後の受診等により対応しながら支援している。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 担当医や病院との情報交換は電話やファックスにて密に取り合いながら、指示、助言を受けながらいい関係作りを行っている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 重度化や終末期の医療行為が発生した場合などを予測し、本人、家族、かかりつけ医と話し合い、可能な限りホームでの生活が出来るよう、スタッフ全員で取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) これまでに状態が急変して看取られたような事例もあるが、今後は、ご家族ともゆっくりと話し合いをしながら、心の準備等をしたり、協力し合って一緒に看取りを支援していきたいと考えておられる。</p>	<p>現在、事業所では、介護度が重度の利用者も増えてきている。これまではご本人の終末期のあり方について、話し合うような機会は少なかったようであるが、ご本人の希望やご家族の思いをお聞きしたり、事業所の体制作り等についても計画を立てて、取り組みをすすめていかれてほしい。事業所では「ご家族が悔いの残らないような支援をすすめていきたい」と話しておられた。</p>

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 緊急連絡網や、会議などの時に再確認したり、スタッフルームにも掲示したりして実践もしている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 総合防災会社に管理など委任し、定期的に防災、防火訓練など行ったり、避難方法など掲示してそれぞれが常に気をつけるよう体制を築いている。夜間体制での訓練も予定している。 (外部評価) 消防団の方が来られた際には、消火栓の場所等を教えていただいた。居間からはテラスに出られ、テラスから外に出られるようスロープを作っておられた。避難訓練を行った際には慌てて「通報機の使い方等についても戸惑った」等、課題もあったようである。	事業所は、年に2回の訓練では「次の訓練時には忘れていくことも多い」と話しておられた。今後、通報の手順を書いて貼っておくことも考えておられた。又、夜間を想定した訓練を行うことも計画されていた。いろいろな場面や時間を想定して訓練を重ね、利用者・職員の安心・安全に向け、取り組みをすすめていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) ホーム内では自由に行動してもらいながら見守りをし、言葉かけには十分気をつけながら、一人ひとりの人格を尊重し日々対応している。 (外部評価) 入居の際は、ご家族と一緒にご本人が来られて、ご本人が「泊まってもいいよ」と言われてから入居に至るようにされており、ご本人の意思を大切に支援しておられる。又、職員の利用者に対する言葉かけは「～しませんか」等、質問型にしてご本人に決めてもらうように努めておられる。利用者個々の呼び方は、ご家族と相談して「ご本人が以前から呼ばれていた呼び方」で呼ぶようにされており、名前でお呼んでおられる様子も見られた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 自己決定出来る事は、本人の要望など出来るだけ受け入れるよう配慮し、出来ない事に対しては、家族や本人への説明などで、納得してもらえるよう家族や、スタッフで協力し合って本人の気持ちを大切にしよう働きかけている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員の都合で、利用者に命令するような事をひかえて、本人にどうしてあげたらいいのか常に考えながら支援するようスタッフも、実践に努めている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 理容、美容は定期的に行い、服装など自分で出来る人は本人に任せたり、一緒に選んだりして楽しんでもらっている。食後の口腔ケア、整髪にも気を配りながら支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下ごしらえや片付けなど、出来ることには参加してもらったり、味見をしてもらったりしながら好物を聞いたり、盛りつけなど、スタッフ同士でも考えながら楽しく、美味しく食べてもらったり、畑の野菜などを作ったり、収穫したりしながら季節を感じてもらえるよう支援している。 (外部評価) 利用者は「ご飯作りはいやだけど、お手伝いならいいよ」と職員とジャガイモやゆで卵を剥いてくださったりするようだ。食器は、小さな器を多く用いて「少しずつ多くのもの」を食べてもらえるように作っておられる。肉屋・魚屋が食材を配達してくれたり、畑の野菜等も使って新鮮な野菜を多く採り入れた食事に心がけておられる。調査訪問時は、郷土料理の「たまご寒天」を作っておられ、利用者の方達も馴染みのあるものが食べられるように工夫されている。職員は「利用者が、食べたいと思えるような食事」が作れるように努めておられる。介護用のエプロンは付けず、利用者の手元にはそれぞれにご自分用のティッシュの箱を置いておられ、ご自分で汚れを拭くことができるようにされている。又、職員が「酢物が残ってるよ」等、声をかけながらサポートされていた。退職された職員の方が「むらさき芋羊羹」を作って持って来てくれ、皆でおいしく食べておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 体重チェックなどしながらバランス的な事を考慮し、調理方法や水分補給チェック、食事の摂取量チェックなど一人ひとりの支援を行っている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食前食後の口腔ケアの徹底と、義歯の洗浄や、口腔ケア用品の整理整頓などに努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 出来るだけトイレにて排泄が出来るよう、居室には、ポータブルトイレは置かないよう努力し、スタッフによる誘導にて支援している。 (外部評価) 「ポータブルトイレをできるだけ使わず」に、職員がトイレにお連れしてトイレで排泄できるよう、支援に努めておられる。食事前後にトイレに誘ったり、入浴前等にもトイレに行くように声をかけておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) スタッフ全員で情報を交換し、排便チェックを確認しながら、薬や食べ物、飲み物など調整し、出来るだけ自然排便に取り組んでいる。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 車椅子の方などリフト入浴の関係上、お願いして曜日を決めていることもありますが、利用者の希望などもあり、1日毎の入浴になっている事が多いが、希望などは優先して支援している。 (外部評価) 利用者は、デイサービスの大きなお風呂に入ることを好まれており、お二人で入ったり、おしゃべりをしてゆっくりされる方もある。調査訪問時、車いすの利用者がひざに着替えを乗せて、浴室に向かっている様子が見られた。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 夜間の見守りは、頻繁に行うようにし、状況に応じて寝る前の声かけなどして、安心して眠れるよう雰囲気作りにも支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 誰が見ても分かるように説明書を準備し、勤務者で確認し間違いがないよう常に注意したり、症状の変化にも対応出来るよう努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 特技などを活かした手芸や、お花、家事をやったり、年にとらわれず若い歌やゲームに参加してもらえるよう努めている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩、外気浴など近所に出かけたり、ドライブや買い物など、本人の希望など聞きながら計画を立てて実践するよう努めている。	
			(外部評価) お花見は職員がお弁当を作り、何度も送迎をして、利用者全員でお花見を楽しめるように支援されている。小学校や保育園の運動会を見学に行ったり、町のコスモスまつりに出かけたり、近々、総合公園のイルミネーションを見に夜間に出かけることも予定されていた。ファミリーレストランに外出に出かけることもある。利用者が職員に「一緒に出かけよう」と誘ってくれるようなこともある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 事務所で預かり管理している人もいて、必要な時本人に渡しているが、多額のお金は預からないよう家族に伝えている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話など掛けたり、取次いでいる。自由にしてもらっているが、掛ける時は理由がない限り夜19:30までとし、受ける時は21:00までとしている。手紙などは本人にそのまま渡したり、読んであげたりして、今までの関係が切れぬよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>足音、話し声、物音など大きな音を出さないよう常に注意し合い、温度、湿度にも常に配慮している。頂き物の花などある時は、利用者と一緒に活けたりして、生活感、季節感を取り入れるよう工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者は、居間で過ごす時間が多く、調査訪問時にはテーブルを囲んで、かるたをしておられる様子がかがえた。ソファやいすに座って過ごされたり、テラスは広い造りになっており、季節の良い時にはテラスでお茶を楽しまれることも多い。テラスから見える田は地域の方がコスモスを植えておられ秋になると利用者の目を楽しませてくれる。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>利用者同士の相性もありうまくいかない事もあるが、自室を大切にし、自分の家のようにゆっくりくつろげる場所を提供し、気の合った者同士が自由に行き来できるような工夫をしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>本人に必要と思われる物は家族に自由持参してもらって、あまり生活空間が無くならないよう気をつけてもらい、安心して過ごせるよう工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室はきれいに掃除をされ、整理されている。誕生日に送ったメッセージの色紙を飾っておられる方もあった。洋服をハンガーにかけておられる方もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>自室で出来る事は見守りに留め、難しい事、時間のかかる事等を手伝ったり、一緒に行ったりするようにして、自立の邪魔にならないよう工夫している。</p>	